

第6回定例会における採決の結果

件名	結果	賛成議員										反対議員	
		熊合兼樹	石原敏郎	安部誠也	門眞一郎	長島正一	永井章	伊藤好晴	瀧尻行雄	難波俊司	小野覚	安部朋次	
平成21年度飯南町各会計歳入歳出決算認定(決算審査特別委員会へ付託)	-												
株式会社フロンティアあかぎの経営状況報告	-												
飯南町犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の制定	可決												
飯南町農林業研修宿泊施設の設置及び管理に関する条例の制定	可決												
飯南町子ども等医療費助成条例の一部を改正する条例	可決												
飯南町ふるさとの森の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決												
公の施設(飯南町ふるさとの森)の指定管理者の指定	可決												
公立雲南総合病院組合の解散	可決												
公立雲南総合病院組合の解散に伴う財産処分	可決												
公立雲南総合病院組合の解散に伴う事務の承継	可決												
雲南消防組合規約の一部を変更する規約	可決												
雲南環境衛生組合規約の一部を変更する規約	可決												
飯南町過疎地域自立促進計画	可決												
平成22年度飯南町一般会計補正予算(第2号)	可決												
平成22年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決												
平成22年度飯南町老人保健事業特別会計補正予算(第1号)	可決												
平成22年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決												
平成22年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第2号)	可決												
平成22年度飯南町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決												
平成22年度飯南町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決												
平成22年度飯南町病院事業会計補正予算(第2号)	可決												

第6回定例会における議員提出議案採決の結果

発議第7号	住民の生活や生命を守るため国土交通省松江国道事務所頓原維持出張所の存続を求める意見書(案)の提出	可決	賛成議員										反対議員	
			熊合兼樹	石原敏郎	安部誠也	門眞一郎	長島正一	永井章	伊藤好晴	瀧尻行雄	難波俊司	小野覚	安部朋次	
発議第8号	ナラ枯れ対策の抜本強化に関する意見書(案)の提出	可決												
発議第9号	飯南町議会庁舎問題調査特別委員会の設置	可決												



Q リーディング産業を振興せよ  
A 地域住民とともに取り組む

石原 敏郎議員  
全国的に名を馳せた自治体には、産業振興における首長が必ずいますが、山崎町政10年でのような成果が上がったか示して欲しい。

現況は水稲を重視するあまり米呪縛に陥り、価格保障や所得補償を頼るのみで、新たな方向性を見いだせていないと思います。

これからは全く違う観点で、農業を中心にした新たな産業を振興しなければなりません。飯南町の次代を築くため、株式会社飯南町として一点突破集中投入のもと、リーディング産業振興に取り組むべきだが、具体的な考えはあるのか。

山崎 英樹町長

役場一丸となって産業振興に努力していますが、種々の背景があるにしても非常に厳しい状況にあり、私自身悔しい思いをしています。今後は、産業振興ビジョンを基本とし、「農林産物

Q 選管事務の実態は  
A 決定は4名の委員で



石原議員

本年6月の定例会で、「選挙管理委員会は事務局の言うままに承している」といった質問がありました。事実とすると、由々しき問題と思うが実態は。

また、自治体の力を活用し、地域住民が主体となった産業振興に取り組み、一緒に考えながら、できる支援をしていきます。

Q 新庁舎建設の対処は  
A 決定は議会の特別多数議決

石原議員

飯南合併協議会の最終取りまとめでは、本庁方式については意見が一致し、「具体的な庁舎建設位置は新町長と町議会が判断する」という経過だったと思います。このたび「新庁舎建設検討委員会」をつくり、その

検討課題に建設用地も入っているようです。しかし、事務所の位置決定は議会の特別多数議決を要するものであり、特別委員会を設置し、検討して議決すべきものだと信じていますが、町長の見解は。

山崎町長

合併協議会の経過について

Q 監査委員の意思疎通は  
A できていると思う

景山武選挙管理委員会委員長  
選管は行政委員会の一つであり、独立した町の執行機関です。選管事務局の意見を参考にはしますが、私を含め4名の委員の意見をもって決定しております。

山崎町長

6月議会では、私に対して質問があったので答弁をしました。選管当事者としてはありませんでしたが、ご指摘の通りですので、今後気をつけます。

安部 昇代表監査委員

私は定例議会に出席し、全協には出席していませんが、その情報は議会選任監査委員から伝え聞いており、それで十分だと判断しています。二人の監査委員間の意思疎通は重要で、できていると思いますが、今後ともさらに図ってまいります。

石原議員

代表監査委員は議会全員協議会には出席しないのが通例となっています。全協でのやりとりを詳細に知らない、監査委員として支障をきたすのではないかと危惧しますがどうか。二人の監査委員間の意思疎通について、代表監査委員の立場としてどう捉えているか真意をたずねる。

討論

議第66号 公の施設(飯南町ふるさとの森)の指定管理者の指定について

【反対討論】

石原 敏郎  
平成22年度当初予算で、ふるさとの森施設の管理費として1973万1千円計上し、現在、この施設の運営はフロンティアあかぎに業務委託している。そうした中、この施設を中心とする研修館の改修工事が当初予定より大幅に遅れることになり、研修館の今年度中運営開始は事実上困難となった。

従って今年度は現在通り、フロンティアあかぎへ業務委託したままでも何ら支障はない。里山コミッションの問題も含め、もう一度足下を見つめなおし、ふるさとの森施設は平成23年度から指定管理に移すべきだ。今回、フロンティアあかぎを業務委託から指定管理者へと変更するのは拙速であり、この議案に反対する。

【賛成討論】

安部 朋次

いままでもふるさとの森施設の運営を業務委託してきたフロンティアあかぎが、このたび指定管理者になることが一番適切だ。フロンティアあかぎはこれまで三セクとして事業を進めてきたが、今後はこの施設を管理する中で、より大きな事業展開するものと思っている。

フロンティアあかぎが、飯南町行政から離れ民間企業として独自営業するために、この施設の指定管理者になるべきであり、足がかりにしていきたい。こうしたことにおいて、私は賛成します。

リーディング産業：雇用や他産業へ幅広い波及効果を持ち、それによって地域経済を牽引する産業。  
特別多数議決：地方公共団体の議会の議事は、法律に特別の定めがある場合は、過半数議決が適用されず、賛成議員の割合がさらに必要となる。事務所(庁舎)の位置を定める場合は、出席議員の3分の2以上の同意が必要である。